

第23号様式の2(表)

陽電子断層撮影診療用放射性同位元素設置予定届

年 月 日

(宛先)名古屋市長

病院又は診療所 所在地
 名称
 管理者氏名

陽電子断層撮影診療用放射性同位元素を設置しますので、医療法施行規則第28条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

放射性同位元素	放射性同位元素の種類				
	形状				
	年内使用予定数量 (ベクレル)				
	最大貯蔵予定数量 (ベクレル)				
	1日の最大使用予定数量 (ベクレル)				
	3月間の最大使用予定数量 (ベクレル)				
使用室	別紙1のとおり				
貯蔵施設	別紙2のとおり				
貯蔵器 (運搬器)	別紙3のとおり				
廃棄施設	別紙4のとおり				
放射線治療病室	別紙5のとおり				
管 理 区 域	施設別 区分	使用室	貯蔵施設	廃棄施設	治療施設
	境界に設ける柵その他の設備				
	標識を付ける箇所				
その 他	注意事項の掲示				
	敷地内の居住区域及び境界の放射線量				
	放射線診療従事者等の被ばく防止の状況				
	患者の被ばく防止の状況				
	放射線の防護を含めた安全管理の体制の確立を目的とした委員会等の設置				

(裏)

陽電子断層撮影 診療用放射性同位 元素を使用する 医師又は歯科 医師	職	名	氏	名	放射線診療に関する経歴
安全管理に専ら 従事する診療放 射線技師					
予定使用開始時期	年 月 日				

(併せて提出する書類)

- 1 隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した陽電子断層撮影診療用放射性同位元素使用室、貯蔵施設、廃棄施設、治療病室の平面図及び側面図
- 2 遮蔽計算書
記入上の注意
 - (1) 管理区域を明示してください。
 - (2) 線源からの画壁等の外側までの距離並びに防護物の材料及び厚さを記入してください。
 - (3) 画壁等の外側の放射線量率については、画壁等の外側の最も近接した点で、通常の場合の最大量の使用状態を想定したときの計算値とその計算式を記入してください。計算責任者の所属、職及び氏名を記入してください。
- 3 陽電子断層撮影診療に従事する診療放射線技師について陽電子断層撮影診療に関する所定の研修を終了していることを証明する書類
- 4 陽電子断層撮影診療用放射性同位元素を使用する医師又は歯科医師について次に掲げる書類
 - (1) 常勤職員であることを証明する書類
 - (2) 陽電子断層撮影診療に関する安全管理の責任者であることを証明する書類
 - (3) 核医学診断の経験を3年以上有していることを証明する書類
 - (4) 陽電子断層撮影診療全般に関する所定の研修を終了していることを証明する書類

備考 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

2 別紙1、別紙2、別紙3及び別紙4の用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

別紙1

事項		室名
構造の種類	耐火構造	
	不燃材料で作られたもの	
	その他の構造(理由)	
材質	壁	
	床	
	天井	
1週間の予定使用時間		
1人当たりの最大使用数量(ベクレル)		
使用室の面壁の外側の放射線量率(シーベルト)		
出入口の数		
陽電子準備室と診察を行う室との区画ができているか		
患者等が待機する室と診察を行う室との区画ができているか		
陽電子放射断層撮影装置を操作する場所		
標識を付ける場所		
突起物及びくぼみの状況		
仕上材の目地等の隙間の状況		
洗浄設備の場所		
洗浄設備の連結(排水設備)		
排気設備		
汚染検査用の測定器		
洗浄設備及び更衣設備		
汚染除去のための器材		
フード、グローブボックス等の個数及び排気設備との連結の状況		
C T 撮影装置		
診療用放射線照射装置又は診療用放射線照射器具		

別紙2

事項		室名
貯	構造の種類	耐火構造
		その他の構造
蔵	材	壁
		床
	料	天井
室	出入口の数	
	防火戸	
	貯蔵予定種類及び数量	
	貯蔵室の画壁の外側の放射線量率	
貯蔵箱	個数、構造及び材料	
	貯蔵箱の外側の放射線量率	
標識を付ける箇所		
扉、蓋等の外部に通じる部分の鍵等		
貯蔵容器		
受皿、吸収材その他汚染の広がりを防止するための設備又は器具		

別紙3

区分 容器別	最大貯蔵 数 量 (ベク レル)	種類・数量 (ベク レル)	空気汚染の おそれのあ る同位元素 のための容 器の有無及 び構造	液体状の同 位元素を入 れる容器の 有無及び構 造	容器の外 側の放射 線量率	標 識

別紙4

廃棄施設の外側の放射線量率			
排水設備	種類		
	個数		
	性能		
	材料		
	構造設備	排液流出調節装置	
		廃液の採取・濃度の測定	
		材質及びその構造	
開口部 標識を付ける箇所			
排気設備	種類		
	個数		
	性能		
	材料		
	構造		
	汚染空気の広がり防止装置		
	標識を付ける箇所		
焼却炉	焼却	種類	
		個数	
		気体が漏れにくい構造	
		灰が飛散しにくい構造	
		廃棄設備との連結	
		焼却残さの搬出口の廃棄作業室との連結	
却備	廃棄作業室	突起物及びくぼみの状況	
		仕上材の目地等の状況	
		フード、グローブボックス等の個数及び廃棄設備との連結	
		標識を付ける箇所	
	汚染検査室	位置	
		突起物及びくぼみの状況	
		仕上材の目地等の状況	
		洗浄設備及び更衣設備	
		汚染検査用の測定器	
		汚染除去のための器材 洗浄設備の排水管の排水設備との連結	
標識を付ける箇所			
保管廃棄設備	外部との区画		
	扉、蓋等の鍵等の位置		
	耐火性の容器		
	容器であることを示す標識		
	設備であることを示す標識		

別紙5

事項		室名
構造の種類	耐火構造	
	不燃材料で作られたもの	
	その他の構造	
材質	壁	
	床	
	天井	
床面積(m ²)		
病床数(床)		
画壁の外側の放射線量率		
標識を付ける箇所		
突起物及びくぼみの状況		
仕上材の目地等の状況		
汚染検査用の測定器		
洗浄設備及び更衣設備		
汚染除去のための器材		